

ときめいて人 かがやいて未来 2021



第76回国民体育大会



デモンストレーションスポーツ

SSピンポン

競技大会



期日 令和3年4月25日(日)

会場 三重北勢健康増進センター(ヘルスプラザ)

主催 公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・三重県・四日市市

主管 エンジョイSSピンポンクラブ



三重とこわか国体

国民体育大会マーク



昭和 22 年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第 2 回大会から使用されています。30 度右傾斜した赤色の火炎を直径の 10 分の 1 幅の紺青色の円帯で囲んでいます。

総合開会式・総合閉会式会場



三重県総合文化センター大ホール（津市）

参加者の安全・安心を確保したうえで、デジタル技術等を活用し映像等により三重の魅力や応援を届けるなど、国体史上初の「オンライン式典」を実施します。

大会愛称

三重とこわか国体

「とこわか（常若）」とは、「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現した言葉で、県民や来訪者が活力に満ち、元気になるようにとの願いを込めています。

スローガン

ときめいて人 かがやいて未来

大会がきっかけとなって全ての人が夢と感動、喜びと充実感を味わい、大会後も元気であり続けていくような未来になるようにとの願いを込めています。

マスコット「とこまる」

三重とこわか国体・三重とこわか大会マスコットキャラクターの「とこまる」です。

「とこまる」の「とこ」は、大会愛称である「とこわか」や「とことこ」と元気に走り回る子どものイメージです。
「まる」には国体・大会の成功（○になる）や、選手だけでなく携わっていただくすべての方の「和」という願いが込められています。





あいさつ

三重とこわか国体・三重とこわか大会
実行委員会会長

三重県知事 鈴木英敬

県内各地から多くの県民の皆さんにご参加をいただき、第76回国民体育大会「三重とこわか国体」デモンストレーションスポーツとして、SSピンポンが四日市市で開催されますことを心からお喜び申し上げます。

さて、三重県における国民体育大会は、昭和50年以来46年ぶり2回目の開催であり、「ときめいて人 かがやいて未来」のスローガンの下、全ての人が夢と感動、喜びと充実感を味わい、大会後も元気であり続けていくような未来になるよう、県や市町、競技団体等が一丸となり「オール三重」で準備を進めてまいりました。

デモンストレーションスポーツは、県民の皆さんが国体に参加する機会を設けることで、地域スポーツの普及・推進を図り、世代間や地域間の交流の輪を広げることを目的に、県内20市町で32競技が開催されます。

参加される皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、以前とは異なる環境の中で、大変なご苦勞をされていることと存じます。本大会への参加を通じて、参加される皆様が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で生きがいのある生活を送る契機となることを期待します。

終わりに、開催にご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、選手の皆様のご健闘を心からお祈り申し上げます。

目 次

○ あいさつ（三重県知事）	1
○ あいさつ（四日市市長）	2
○ 大会開催によせて	3
○ 競技役員・競技補助員	4
○ 競技日程及び式次第	5
○ 競技別実施要項	6
○ 競技の見かた	8
○ 競技会場図	10
○ 卓球台配置図	11
○ 選手一覧・組合せ	12
○ 会場アクセス・交通機関案内	13
○ 大会関係機関連絡先	14
○ 救急時対応連絡先	14

あいさつ



三重とこわか国体・三重とこわか大会
四日市市実行委員会会長

四日市市長 森 智 広

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」デモンストレーションスポーツとして、SSピンポンがここ四日市市において盛大に開催されますことを、市民を代表し、心からお喜び申し上げます。

SSピンポンは、「S（生涯）S（スポーツ）」が示すように、年齢を問わず多くの方に楽しんでいただけるスポーツです。また、デモンストレーションスポーツの目的である、国民の健康増進・体力の向上を始めとした、生涯スポーツ社会の実現に寄与できる競技でもあり、三重県発祥のSSピンポンが、三重とこわか国体において初めてデモンストレーションスポーツ競技大会として開催されることで、これを機に競技が広く普及していくものと期待しております。

参加される皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じる中での練習や健康管理など、これまでとは全く異なる環境において、本日を迎えられたことと思いますが、この大会が思い出に残る素晴らしいものになりますようお願いしております。

結びに、本大会開催にあたって、多大な御尽力を賜りました関係者の皆様に重ねて深く感謝を申し上げますとともに、大会の成功と皆様の益々の御活躍を心から祈念いたします。

大会開催によせて



三重とこわか国体

SSピンポン競技大会会長

エンジョイSSピンポンクラブ

会長 村井 正治

今回、三重県において、第76回国民体育大会「三重とこわか国体」が、新型コロナウイルスの感染拡大により、例年とは異なる様式での開催となりますが、四日市市をはじめ各市町関係者各位のご尽力とご理解を得て開催できますことに心より感謝申し上げます。

さて、本日、実施するデモンストレーションスポーツ・SSピンポンは、2015年に子供から高齢者及び障がいのある方も一緒に楽しめるスポーツとして三重県で誕生しました。

「SS」とは「生涯」と「スポーツ」の頭文字から来ています。そのSSピンポンは卓球に似たユニバーサルスポーツです。SSピンポンは、音の出るボールを使う点、ラケットにラバーが張られていない点、台の一部に枠があり、球が落ちないようにになっている点が卓球とは異なります。他にも、卓球では球がネットの上を飛び交うのに対し、SSピンポンはネットの下を転がします。シングルスとダブルスがあり、みんなが一緒に楽しんでいただけるスポーツで、競技、レクリエーションとして幅広く楽しんでいただけます。

本日の大会を迎えるに際し、SSピンポンの普及のための様々な取り組みとして、県内各地のスポーツ指導員の方々や小中学校の児童生徒のみなさん、あるいは三重県議会議員の方々等による体験会を実施し、大会の開催、ルールに基づいた審判講習会等、SSピンポンの普及に取り組んで参りました。現在は三重県中心での活動ですが、このデモンストレーションスポーツの開催を契機に全国に愛好者を広げ、皆さんの健康増進、子どもたちの健全育成の一助となるような活動を続ける所存でございます。

本日参加の皆様は今後、公開競技、正式種目となっていく架け橋となるようその活躍が期待される方々です。日頃の練習の成果を存分に発揮され、楽しく競技されますことを祈願しております。

そして、参加するすべての方々が、「ときめいて人 かがやいて未来」のスローガンを胸に、お互いが友情を深められ、三重県の自然と人情に触れながら、数多くの素晴らしい思い出を作っていただきたいと願っております。

終わりに、本大会開催にご尽力いただきました全ての皆様に、重ねて感謝を申し上げますとともに、本日より更なる目標に向かって精進することをお誓いしまして、私の挨拶といたします。

競技役員

大会会長	村井 正治				
大会副会長	伊藤 雅彦				
大会実行委員長	辻 崇				
大会実行副委員長	中野 久恵				
審判長	塚本 裕子				
副審判長	木村 胤実				
審判（主審）	稲毛 洋子	國嶋 小夜子	○蛭川 文子		
	○稲穂 照江	佐野 百合子	○大久保 武		
	谷 明美	○森澤 幸百合	○上田 真希		
	延谷 竹昭	山田 チエ子	山田 典正		
	黒田 智子	○服部 信好	中野 久恵		
			(○印はコート責任者)		
記録係	鳥居 勇次				

競技補助員

受付係	鳥居 勇次			
案内係	和田 明美	原田 と志	横田 華代	
昼食係	火狹 誠子	藤原ゆき子	和波 節子	
救護係	森澤 香織			
体験係	鳥居 勇次	和田 明美	原田 と志	

競技日程及び式次第

期 日 令和3年4月25日(日)
会 場 三重北勢健康増進センター(ヘルスプラザ)

式次第

- 1、選手整列 9:55～
- 2、開始式 10:00～
 - (1) 開始宣言 伊藤 雅彦 大会副会長
 - (2) 大会会長挨拶 村井 正治 大会会長
 - (3) 来賓紹介 辻 崇 大会実行委員長
 - (4) 競技注意 塚本 裕子 審判長
 - (5) 選手宣誓
 - (6) 連絡事項 中野 久恵 大会実行副委員長
 - (7) 準備体操
 - (8) 記念撮影
- 3、競技開始 10:20～
(休憩・昼食)
- 4、競技再開 13:00～
- 5、表彰・閉会式 15:40～
 - (1) 成績発表 塚本 裕子 審判長
 - (2) 表彰式 森 智広 四日市市長
 - (3) 市長挨拶 森 智広 四日市市長
 - (4) 閉会宣言 黒田 智子
- 6、選手退場 16:00

競技別実施要項

1 期 日 2021 年 4 月 25 日（日） ※雨天決行

受 付 9 時 30 分

開 始 式 10 時 00 分

競技開始 10 時 20 分

閉 会 式 15 時 40 分

2 会 場 四日市市 三重北勢健康増進センター（ヘルスプラザ）

3 種別及び参加人員

種 別	選 手	チーム数	合 計（人）
ダブルス戦	2	48	96

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程

NPO 法人日本 S S ピンポン協会が定めたルール規程による。

(2) 競技方法

ア 試合は予選リーグを行い、各リーグ 1 位で決勝トーナメントを行う。

イ 予選リーグ戦は 21 点 1 ゲームマッチ、決勝トーナメントは 1 点 1 ゲームマッチで行う。

ウ サーブは 2 本ごとにチェンジする。さらに、どちらかが 10 点を取った時点で、サーブ・レシーブをチェンジする。

エ 「タイムアウト」、「促進ルール」は適用しない。ただし、デュースになった場合は、21 点目を先取したチームをそのゲームの勝者とする。

5 選考方法

申込み多数の場合は、エンジョイ S S ピンポンクラブにおいて厳正なる抽選により決定する。

6 参加資格

(1) 原則として、三重県内に居住、在勤、在学している者とする。

(2) 出場者に同行もしくは介助が必要な場合には、同行（介助）者氏名と競技役員等が配慮すべき事項について、参加申込書に必ず記入すること。

(3) 怪我防止のため、全盲同士のチームの参加は不可とする。

(4) 中学生以下の者が参加する場合は、保護者または引率者の付添いを必要とする。

7 表 彰

(1) 各リーグ 1 位のチームに賞状を授与する。また、決勝トーナメント優勝、2 位、3 位のチームには副賞（メダル）を授与する。

(2) デモンストレーションスポーツ大会として 2 チームを特別賞とし、賞状を授与する。

(3) 参加者全員に大会参加記念品、大会参加記念章を授与する。

8 参加申込み方法

(1) 所定の「参加申込書」に必要事項を記入の上、2021 年 2 月 25 日（木）までに、下記宛に郵送、FAX 又はメールで提出すること。（「サウンドテーブルテニス三重 情報交換の場 S S ピンポンサイト」でもダウンロード可）

申 込 先	宛 先	提出部数
エンジョイSSピンポンクラブ 鳥居 勇次	〒512-8043 三重県四日市市平津新町260-346 TEL/FAX 0596-24-5501 (代表 村井正治) メール pinpon@ssquin.com	1 部

- (2) 2021 年 1 月 25 日 (月) から受付を開始する。
- (3) 参加申込み後の変更や取り消しについては、速やかに上記申込先へ届け出ること。
- (4) 当日の選手変更は、いかなる場合においても認めない

9 参加負担金

- (1) 1 人 1,000 円とする。
- (2) 参加申込み後の通知に記載された振込口座に、期限までに納入すること。振込手数料は参加者負担となる。
- (3) 納入された参加負担金については、返金しないものとする。

10 参加上の注意について

- (1) 参加者に対する傷害保険については、主催者側で一括加入する。
- (2) 参加者は、各自の責任において健康管理に十分に配慮の上参加すること。
- (3) 競技中に発生した疾病や傷害については、応急処置は行うが、その後の処置については各自の責任において行うこと。当日は、健康保険証もしくはそのコピーを持参すること。
- (4) 18 歳未満の参加者は、保護者の同意を得た上で申込みをするものとする。
- (5) 来場方法については、駐車スペースに限りがあるため、できるだけ公共交通機関を利用するか、自家用車等で来場する場合は、できるだけ乗り合わせの上来場すること。
- (6) 12 時から体験タイムを行うため、参加を希望する者は申込みをすること。ただし、選手は体験タイムの申込みはできない。
- (7) 服装は、運動のできる服装であれば特に定めないが、ゼッケンを用意し、B 5 サイズ程度の布に氏名を記載し、持参すること。
- (8) 必ずシューズ (上靴) を履くこと。
- (9) ラケットなどの競技の用具は、主催者で準備をする。
- (10) 相手または自身に危険を及ぼすような物は、一切身に付けてはならない。
- (11) 飲み物、お弁当については各自で用意すること。
- (12) 所有物や貴重品については、各自で責任を持って管理すること。万が一、盗難や破損、紛失があっても主催者は一切責任を負わない。
- (13) 天災等の緊急時は、施設管理者及びエンジョイSSピンポンクラブの指示に従うこと。
- (14) その他、参加者は主催者側で規定する事項を遵守すること。

11 個人情報の取り扱いについて

参加申込書に記載された個人情報については、以下の三重とこわか国体に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) 三重とこわか国体参加意思及び参加人数の確認
- (2) 参加資格の確認 (住所、年齢、性別、所属、保護者の同意など)
- (3) 参加案内等の送付
- (4) 競技別プログラムの作成
- (5) 賞状等の筆耕
- (6) 競技結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報紙、インターネット等への掲載

12 その他

組み合わせ抽選は、エンジョイSSピンポンクラブの責任において実施する。

競技の見かた



SS ピンポンの概要

SS ピンポンは、卓球台の上で音の出るボールを転がして打ちあう競技です。

SSは、生涯（Syougai）とスポーツ（Sports）を頭文字にした三重県発祥の競技で、子どもから高齢者まで、障害の有無に関係なく誰でも楽しめるニュースポーツです。

SS ピンポンの特徴

ダブルスは、全盲同士以外であれば、健常者同士でペアを組んでも楽しめます。



キュート君



ラケナちゃん



一般卓球台にフレームを付けて楽しめます。（養生テープなどで取り付けます）

用 具

- ① ボールは、中に金属の粒が入った音の出る物（STT 用ボール）、ラケットは、ラバーを貼らない木製の物を使用。
- ② 卓球台は STT の専用台、または一般卓球台にフレームを付けて使用。
（フレームとは、高さ 1.5 センチ、幅 1 センチの物。エンドには全て、サイドはエンドから 60 センチの所まで取り付ける）

※STT：サウンドテーブルテニス

< 1. ルール規定 >

- ① くちジャンケンでサーブ、レシーブ、エンド（コート）のいずれかを選択する。

- ② 審判が「プレー」と言った後、サーバーが「いきます」、レシーバーが「はい」と言ってからサーブを打つ。
- ③ サーバーの右側のコートから相手の右側のコートに入るように斜めに打つ。
- ④ サーブは2本ずつで交代。
- ⑤ ラリー中はコート全面を使用。
- ⑥ ボールがエンドフレームに当たるか、またはエンドフレームに当たらずコート外に出た時点でどちらかのポイントとなる。

< 2. サーブ時の注意点 >

- ① サーブ時のラケットとボールの距離は10センチ以上離す。
- ② ボールから手を離し、ラケットとボールを静止させてから「いきます」と言う。

< 3. ラケットの角度 >

- ① 打球時の角度が60度未満になると「ホールディング」で相手のポイント

< 4. 打球音について >

- ① ラケットを持つ手やグリップで打っても、打球した音がわかればよい。
- ② 打球音がない、またはラケットでテーブルをたたいたり、こすったりして打球音が聞こえない場合「ホールディング」で相手のポイント

< 5. ポイント判定について >

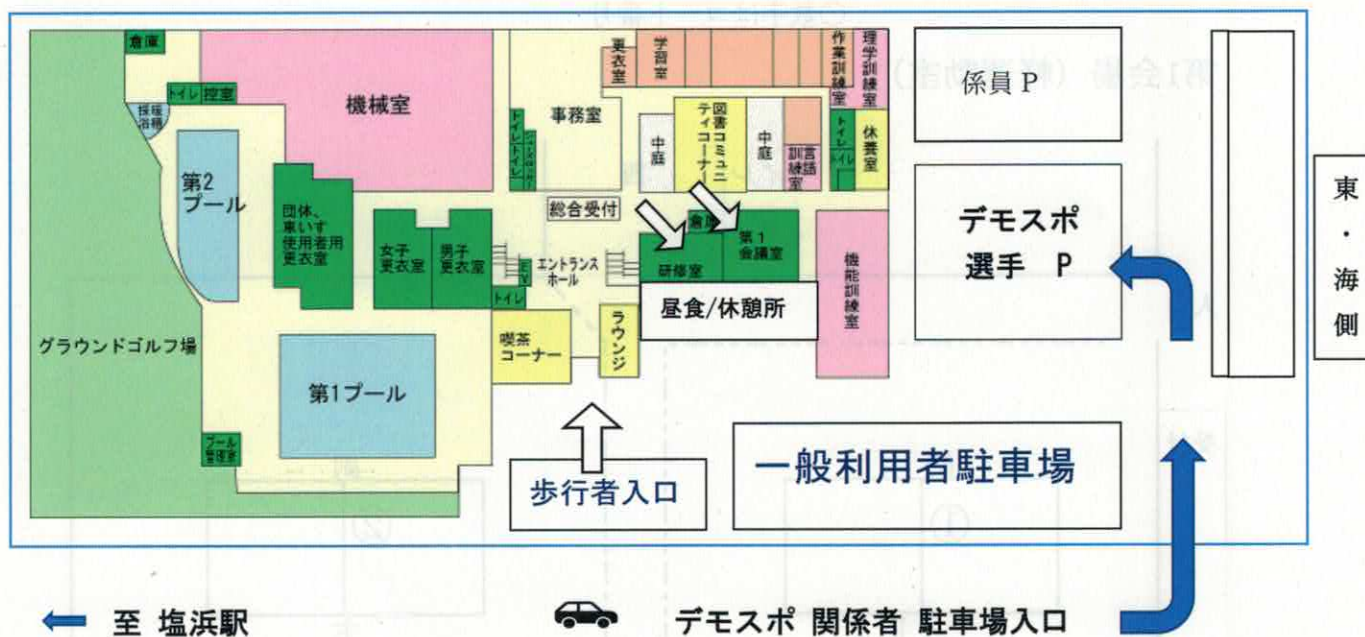
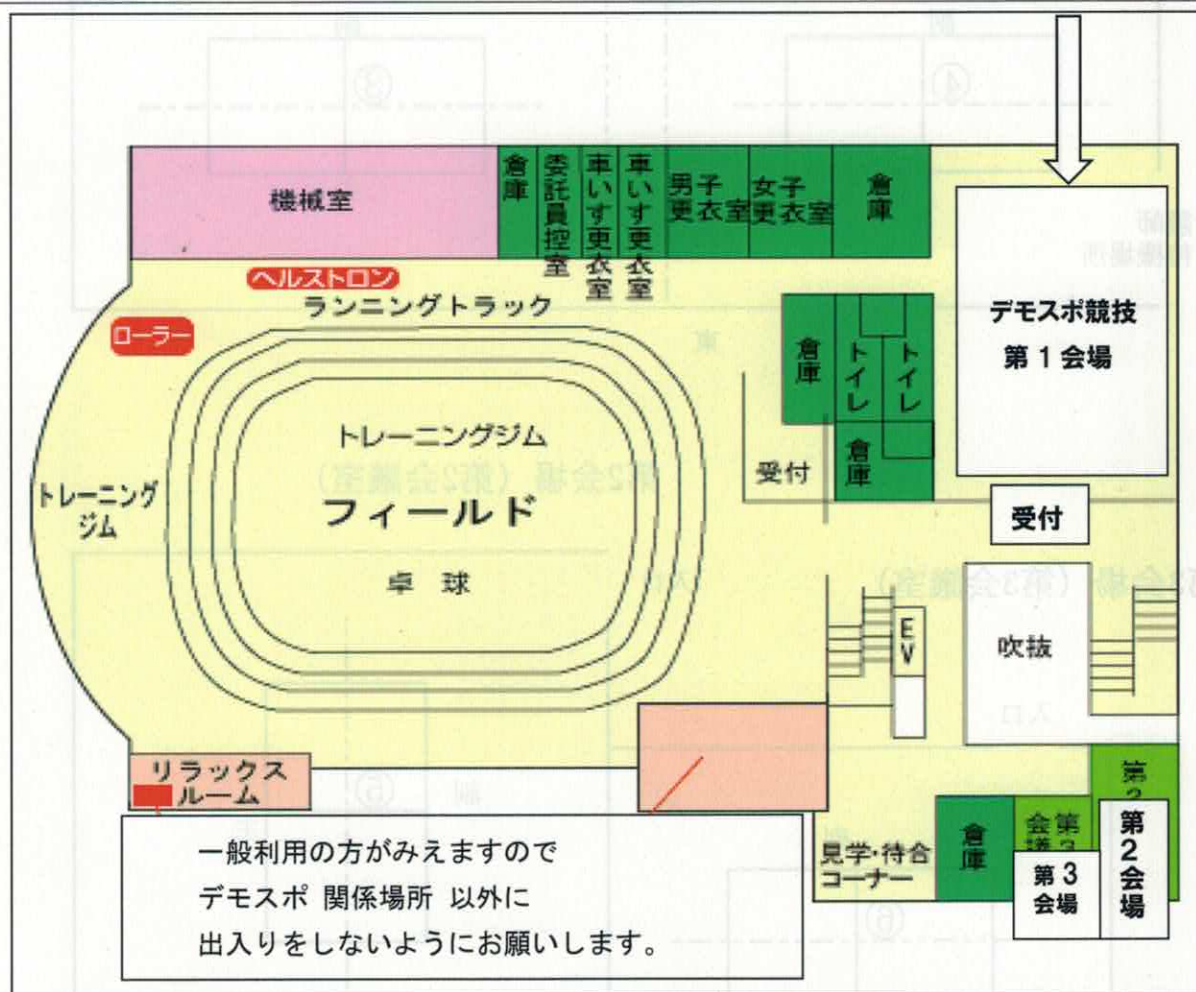
- ① サーブしたボールがネットに触れると「ネット」で相手のポイント
- ② サーブしたボールが、レシーブエリアのセンターラインを外した場合「コースアウト」で、相手のポイント。但し、コースアウトのボールをリターンした場合、ゲームは続行。
- ③ サーブしたボールがコート外に出た場合「フォルト」で相手のポイント
- ④ サーブもラリー中も、ボールがエンドフレームに当たった後、もう一度コート上のどこかに当たれば「セーフ」で打った選手のポイント
- ⑤ ボールがエンドフレームに当たった後、コート外に出た場合「アウト」で相手のポイント
- ⑥ ボールがエンドフレームに当たった後、テーブル上で選手の体やラケットに触れた場合「オブストラクション」で相手のポイント
- ⑦ ラケットに当たった後、コート外に出るか、または相手の守備エリアまで到達しない場合「リターンミス」で相手のポイント

< 6. 試合 >

- ① 通常11点5ゲームズマッチで、3ゲーム先取した選手が勝ちとなる。

競技会場図

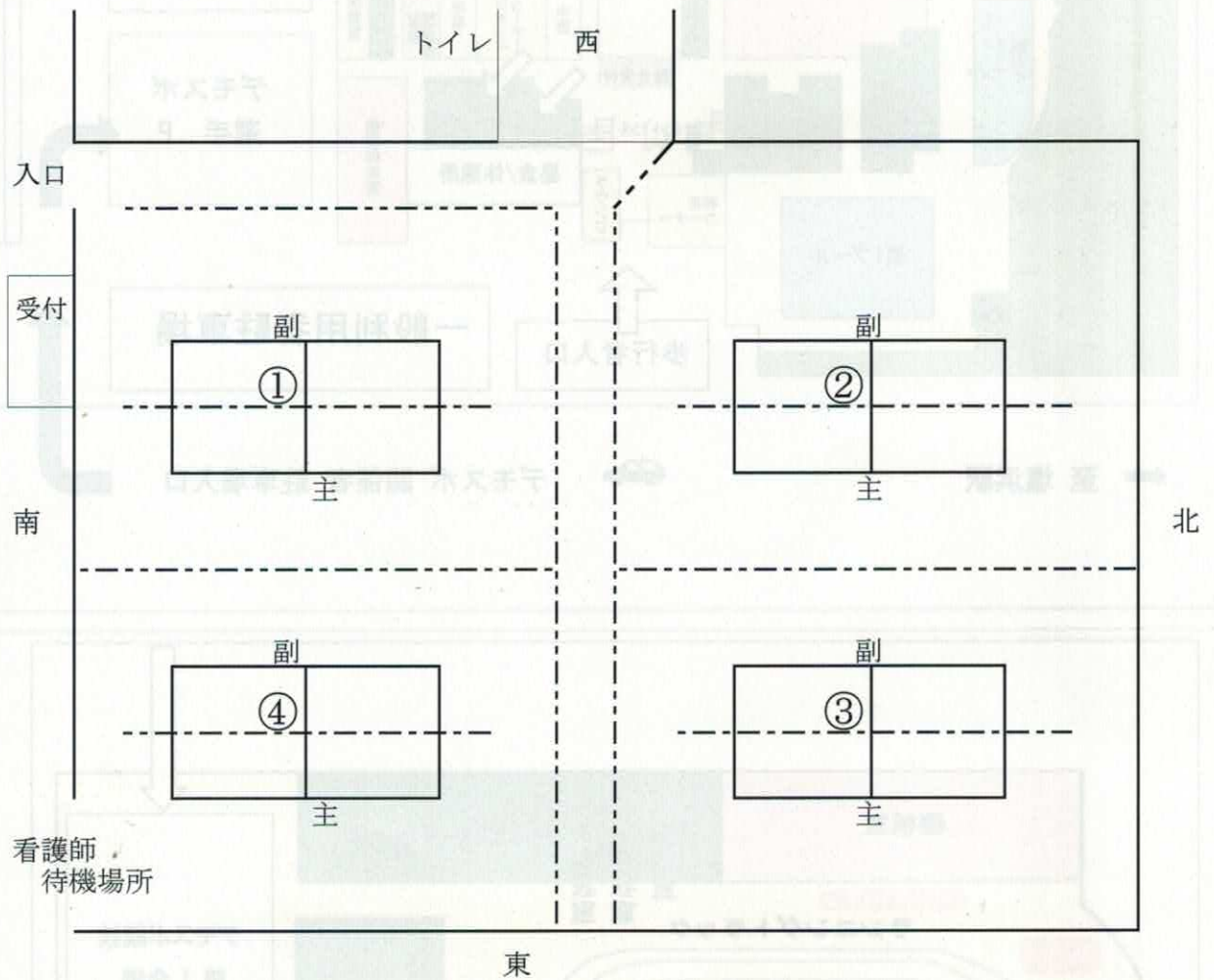
1 F

 $2F$ 

卓球台 配置図

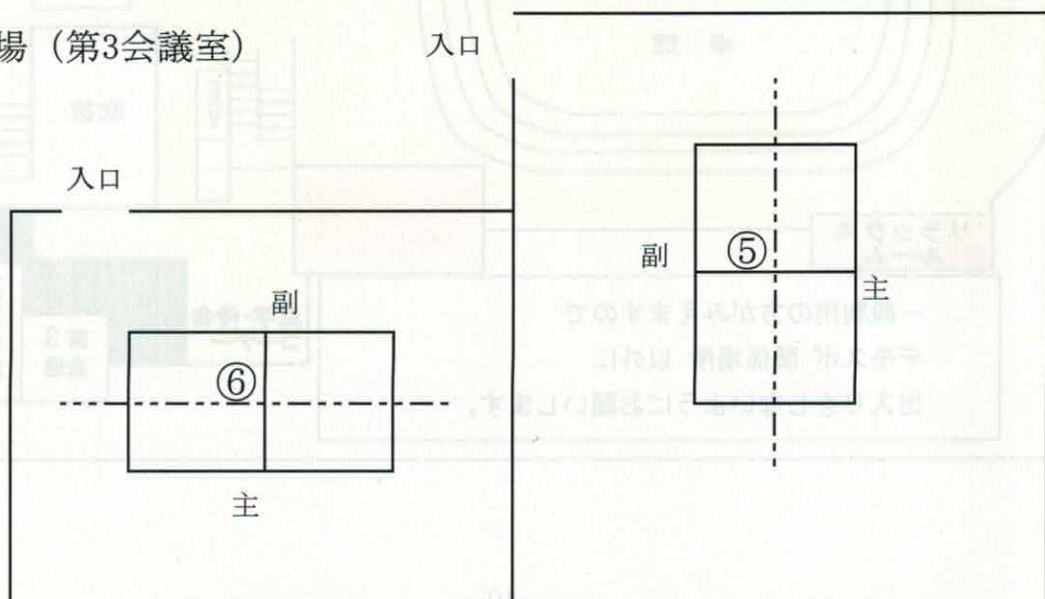
○数字はコート番号

第1会場（軽運動室）



第2会場（第2会議室）

第3会場（第3会議室）



選手 一覧

(順不同・敬称略)

広瀬 順子 平尾 真帆	水谷 学 便田 琴美	村田 守 久保 俊次	鈴木 守 野村 ひろみ
川村 光男 横田 華代	辻 正次 中瀬 美代子	藤井 久美子 藤井 あみ	石井 和明 中瀬古 真喜子
杉本 清明 鈴木 久代	川本 三奈 地崎 真寿実	嵩西 栄子 出口 なおみ	谷口 直子 杉崎 三雪
太田 博之 中村 滋男	植地 伸尚 澤田 由良子	藤原 ゆき子 水谷 哲子	太田 三千代 田窪 豊
小川 正次 松村 修	村田 心渚 雨窪 美紀	山田 康人 福士 浩一	児玉 和義 岩間 陽子
火狭 誠子 和波 節子	古川 勝美 吉田 由貴	糸内 久子 松崎 せつ子	児玉 千春 上村 千津子
山本 鐘子 石田 泰子	原田 と志 和田 明美	中野 実春 辻 優花	西村 くみ 吉富 あゆみ
谷村 裕子 塚田 恵子	野坂 賢司 内田 実	小川 伸也 近澤 淑公	大久保 和加子 大久保 遥斗
石垣 香里 山本 和恵	森澤 吉行 中家 義明	富永 明美 松下 美加	井上 スズ子 小林 由美子
村上 好生 村上 奏瑛	山田 博子 濱田 彰士	内田 順朗 山田 功	山口 亜唯瑠 山口 瑠希亜
田中 亜紀 中西 典子	古林 耕平 安田 諒大	米谷 悠貴 松岡 早苗	日沖 優太 下田 悠
福井 宏明 平林 妙子	小倉 由香 小倉 諒也	齋木 彩 田中 利奈	丹羽 確 山口 峰嗣

組合せ

当日、組合せを発表する。(組合せ表を配布するとともに会場内に貼りだす)

会場・アクセス・交通機関案内

会 場

- 三重北勢健康増進センター（ヘルスプラザ）

所在地 四日市市塩浜町 1-11

T E L 059-349-3311

F A X 059-348-0017

アクセス

- 会場（健康増進センター北）から塩浜駅

- ・徒歩 塩浜駅まで約 10 分

- ・三重交通バス 塩浜駅まで約 3 分

健康増進センター北から県立総合医療センター行き又は塩浜駅行き
をご利用ください。

（お帰りのバス発車時刻 15：54、17:51、18:47）

交通機関案内

- 近鉄・塩浜駅

所在地： 四日市市御園町 2 丁目 82

T E L 059-345-1011

- 三重交通バス

所在地： 四日市市川島町字目代 4102-1

T E L 059-323-0808

大会関係機関連絡先

・主催団体事務局

○三重とこわか国体・三重とこわか大会四日市市実行委員会事務局

所在地：四日市市諏訪町 1-5

TEL 059-340-0234

・主管団体事務局

○ エンジョイSSピンポンクラブ

所在地 伊勢市船江 2 丁目 29-62 (村井正治宅) TEL 0596-24-5501

FAX 0596-24-5501

・競技会場

○ 三重北勢健康増進センター (ヘルスプラザ)

所在地 四日市市塩浜町 1-11

TEL 059-349-3311

・警察署・消防署・保健所

○ 四日市南警察署

所在地 四日市市新正 5 丁目 5-5

TEL 059-355-0110

○ 四日市市消防本部中消防署

所在地 四日市市西新地 14-4

TEL 059-356-2002

○ 四日市市保健所

所在地 四日市市諏訪町 2-2

TEL 059-352-0590

救急時対応連絡先

四日市市応急診療所 (四日市医師会館内)

所在地： 四日市市西新地 14-20 (消防本部東隣)

TEL 059-353-1759

夜間・休日の病院案内 (三重県救急医療情報システム)

インターネットで 「医療ネット みえ」

電話で 救急医療情報センター コールセンター

TEL 059-229-1199



超えて

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS

asics

大塚製薬

mizuno

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ

ニチバン

日本文化出版

図書印刷

時事通信社

OFFICIAL SUPPLIERS

JAL

キャラバンジャパン



日本体育施設

PR TIMES

西鉄旅行

MIKASA

東武トップアース

JTB

★ 開・閉会式会場
三重県総合文化センター 大ホール

三重県内全四市を対象に開催！

ときめいて人 かがやいて未来

第76回国民体育大会

デモンストレーションスポーツ

SSピンポン 三重とこわか国体・三重
とこわか大会四日市市実行委員会

